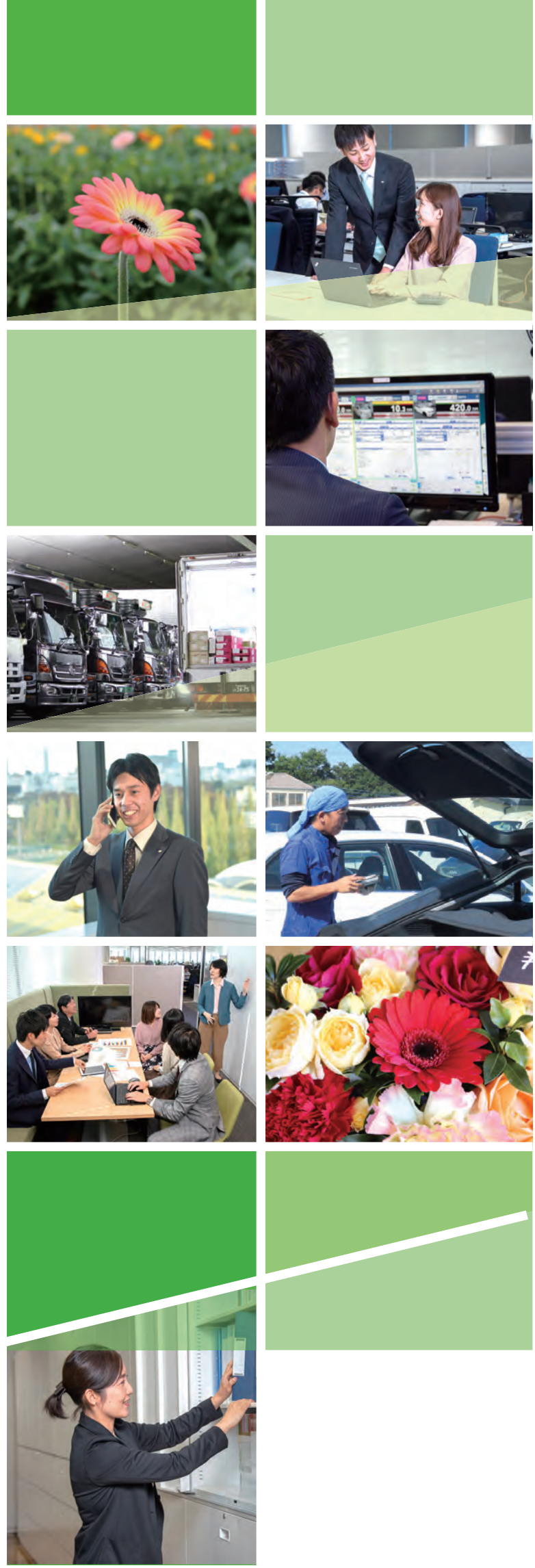




株式会社 オークネット

株主通信 第11期 期末報告書

2018年1月1日～12月31日



# 次世代の情報流通サービスの 在り方を創造し続け、 社会に広く提案していきます。

代表取締役社長 藤崎 清孝



## 2018年12月期の連結業績の振り返りをお願いします。

2018年12月期のオークネットグループの連結業績は、売上高19,492百万円、営業利益3,219百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,707百万円となりました。四輪事業は、厳しい市場動向が続く

なか減収増益となり、デジタルプロダクツ事業は、様々な外部要因などの影響によって、当初想定した流通台数を大幅に下回ったことで、減収減益となりました。

## 今後の成長戦略や重点取り組みについてお聞かせください。

当社グループは、「あしたの流通を創造する」をブランドステートメントに、①次世代の情報流通・新サービスの創造、②競合を凌駕するサービスの徹底強化、③海外事業モデルの確立・事業展開などの改革を推進し、社会的価値、経済的価値のさらなる向上に努めています。2018年12月期の国内市場は自然災害の多発などによる影響を受け、厳しい事業環境となりましたが、当社グループでは、中長期の成長戦略として既存事業の強化・拡充とともに、グローバル展開・新領域の開拓に力を注いでいます。今後は新規事業、海外事業への取り組みのさらなる加速を推進していきます。

四輪事業では、下取りした車両の検査・加修・オークション出品までを一括で提供する「バリューアップセンター」の積極的な活用と、中古車査定業務支援システム「サテロクプレミアム」を起点とした流通拡大に重点を置いて、市場シェアの向上を目指して

いきます。デジタルプロダクツ事業では、海外バイヤーの新規獲得を推進し、海外バイヤー網の拡大によるバイイングパワーの強化、海外も含めた商材の新規調達先の確保に注力することで流通台数の増加を図ります。その他情報流通事業のうち、ブランド事業では、継続的に海外バイヤーの新規獲得などを実施、海外展開を本格化することにより、取扱商材の増加による流通量の拡大に取り組んでいきます。中古バイク事業では、新規会員獲得の強化による流通量の拡大を目指します。花き(切花・鉢物)事業は、出荷者様との連携強化による流通量の拡大に取り組めます。



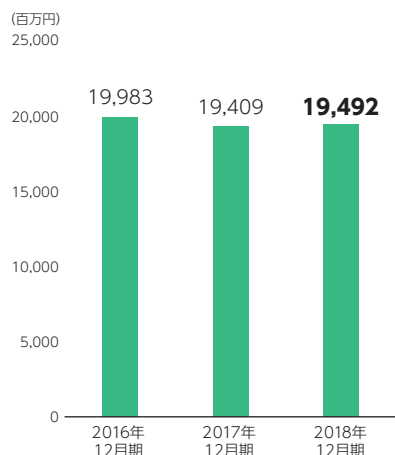
## 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

今後、グループ事業体制の一層の強化を進め、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。株主の皆様には、今後もオークネットグループにご期待

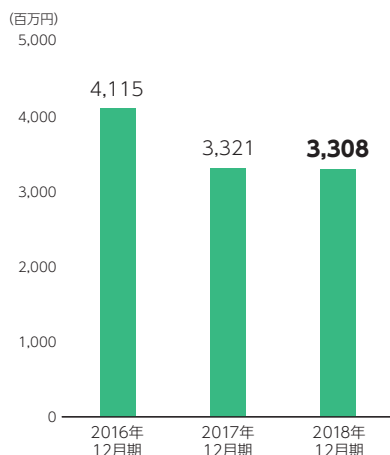
いただくとともに、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務ハイライト

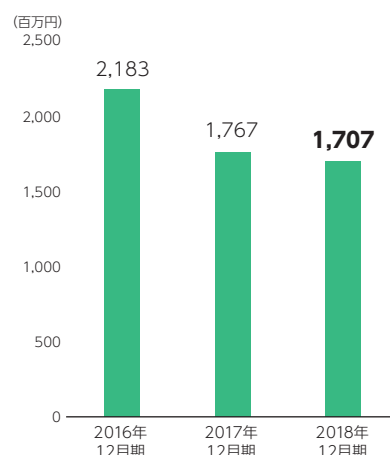
## 売上高



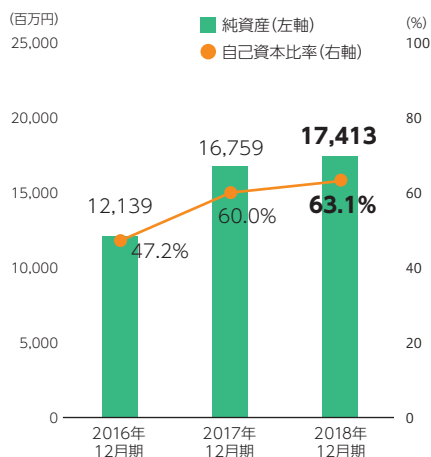
## 経常利益



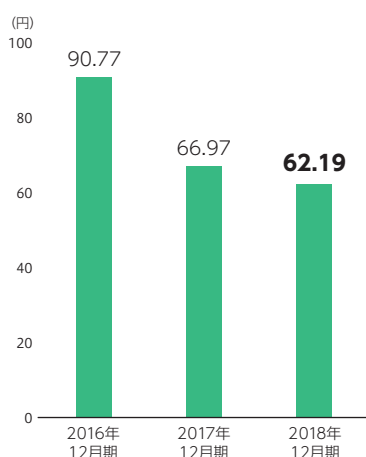
## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 純資産／自己資本比率



## 1株当たり当期純利益



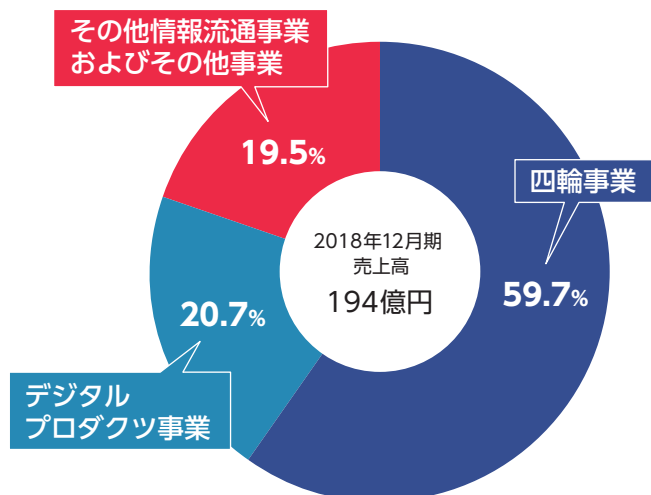
### ▶ 株主還元について

当社では、株主の皆様への利益還元を経営における最重要課題のひとつと位置づけています。将来の事業展開と設備投資の源泉となる内部留保の充実に留意しつつ、連結配当性向30%を目安に安定的な配当を行うことを基本方針としています。この方針に基づき、当期末の配当は1株当たり13円(年間26円)とさせていただきます。

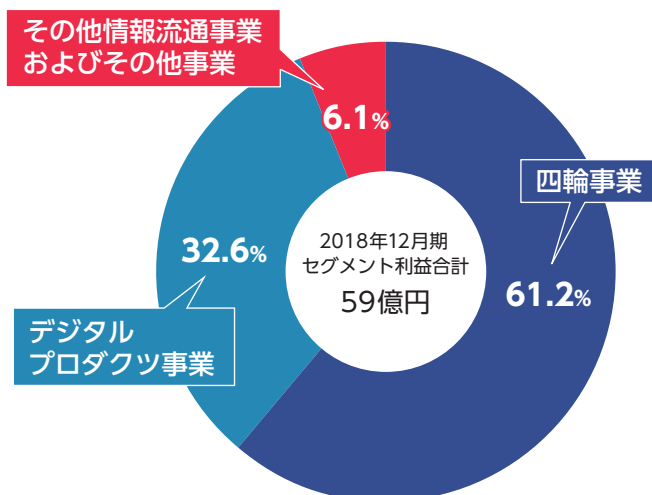
注：当社は、2016年7月31日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2016年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定した数値を記載しております。

## 事業セグメント別情報

### ■ セグメント別売上高構成比



### ■ セグメント別利益構成比



注：1. セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を除く数値を記載しております。  
 2. セグメント別利益は、セグメントに帰属しない費用およびのれん償却費などを除く数値を記載しております。  
 3. セグメント別利益構成比は、セグメント利益の合計値に占める比率を記載しております。



# そこが知りたい！オークネット > その他情報流通事業～「花き(切花・鉢物)事業」～

オークネットグループは、中古車を扱う「四輪事業」、中古スマートフォン・PCなどを扱う「デジタルプロダクツ事業」、ブランド品、中古バイク、花き(切花・鉢物)を扱う「その他情報流通事業」と「その他事業」から構成されています。今回は「その他情報流通事業」の「花き(切花・鉢物)事業」についてご紹介します。



## オークネットの花き(切花・鉢物)事業とは？

出荷者様と買参者様をつなぎ、花のオンライン流通・オークションを開催しています。1997年より、売りやすさ、買いやすさを追求し進化を続けています。現物市場は早朝からセリに出向くという大きな負担がありますが、オークネットの流通は効率よく広いエリアの方と取引可能です。

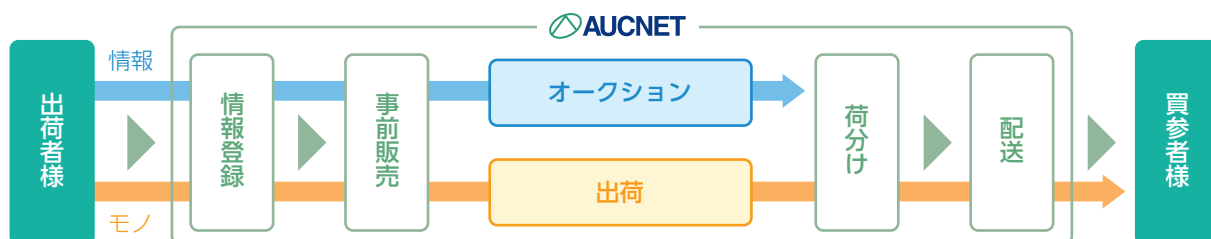
### 花き事業のビジネスモデル



オークネットは、農家・JA(農協)・輸入商社などの出荷者様と、生花店・葬儀業者・ブライダル業者・園芸店などの買参者様を独自のオンライン情報流通でつないでいます。様々な地域・業種の方にご参加いただいているため、公平に参加できるような透明性の高い、安定した相場作りに努めています。

### お花が届くまでのフロー

一般的な市場では、情報とモノを分けずにセリが行われますが、当社では情報とモノを分けて管理し流通しています。情報とモノを分離することにより、効率的でスピード感のある流通が実現しています。



### 事業拡大に向けた新たな取り組み

#### 贈答の窓口

企業間の付き合いに欠かせない贈答花の手配を代行する法人様限定のサービスです。用途や予算に合わせ、胡蝶蘭をはじめとした様々な花やアレンジメントを最善の状態でお届けします。



#### お取寄取引

買参者様が、入荷確定前の先行情報を見て欲しい商品を選ぶ仕入方法を提案するサービスです。従来の仕入方法は、入荷が確定した商品から買参者様が商品を選んでいました。お取寄取引を導入することにより、双方にメリットがある取引を実現しています。買参者様はカタログ化された情報から欲しい商品を選択するため、今までよりも確実な仕入れが可能。出荷者様は事前にカタログ化することで先行販売を行うことができ、価格の安定と販売拡大が図れます。



お花が届くまで ～切花オークション～

出荷者様 JA ハイナガーベラ部会 (静岡県牧之原市)



川村 雅之 様



今まで取引のなかった地域の花屋さんへ届けられました

全国的にも有名なガーベラの産地、静岡県牧之原市の JA ハイナガーベラ部会様は2013年からオークネットを利用されています。「以前は1ロット100本入りの出荷が主流でしたが、より買参者様が購入しやすい50本入りの出荷導入に踏み切りました。これがオークネットを利用するに至った理由のひとつです。おかげさまで今まで取引のなかった地域への流通を増やすことができました。タイムロスが少なく、花の鮮度が良いため、お客様の評判も良く、順調に取引を拡大しています」現在はハイナガーベラのブランド化プロモーションを実施中です。「オークネットのおかげでFacebookのいいね！が広範囲のユーザーからもらえます。今後は流行に敏感な都市の小売店様の声などを新種開発に生かしていきたいです」



ビニールハウス  
1棟で6,500本の  
ガーベラを  
育てています

八木 陽典 様

2  
日前



モノ 情報



出荷情報  
送信



18:00～

事前販売



お花を出荷



1  
日前



荷分け～配送



出荷者様から届いたお花と、オークション結果などの販売情報を連携し、買参者様にお届けしています。  
デリケートなお花の鮮度を保つために倉庫内やトラック内の温度を一定に保っています。深夜に作業してタイムロスをなくすことで、翌日の午前中にお花を届けることを可能としています。



18:00～

データ連携



オンラインオークション

14:00～



週3回オークションを開催しています。オークションの直前まで Web で事前販売などを実施し、買参者様の欲しいお花が買えるようにサポートをしています。  
本社に集まった情報を出荷者様・買参者様に提供することで公平な市場作りを目指しています。

納品日



お花の納品

午前

事前注文

オークション参加

買参者様 株式会社フラワーメッセージお花屋さん (東京都目黒区)



仕入れに割く時間と市場まで行くコストが削減されました

オークネットのオークションを利用する前までは、早朝から現物の市場に出向いて、仕入れた花を車で持ち帰るので、店頭への陳列は午後遅くからだったそうです。「今では前日に注文すると、翌朝には店頭へ届き水揚げをするだけ。花屋さんにとって午前中の時間はとても重要なので、時間と配送コストの大きな節約になっています。店主が店を空けずに花を仕入れることができるので、節約できた時間を有効活用して、新たなフラワーギフトの商品開発などにより力を入れています。最初は現物を見ずに仕入れることに少し抵抗がありましたが、クレームにもきちんと対応してくれるので安心です。今では仕入れの大部分はオークネットです」



代表取締役 北東 久幸 様

# INFORMATION

インフォメーション

## 会社概要

(2018年12月31日現在)

会社名 株式会社オークネット  
英文社名 AUCNET INC.  
創業 1985年6月29日  
資本金 1,711百万円

連結従業員数 677名  
上場区分 東京証券取引所市場第一部  
本社所在地 東京都港区北青山二丁目5番8号 青山OMスクエア  
代表電話 TEL: 03-6440-2500 FAX: 03-6440-2510

## 役員

(2019年3月27日現在)

代表取締役社長	藤崎 清孝	
取締役	藤野 千明	藤崎 慎一郎
	佐藤 俊司	田島 伸和
社外取締役	梅野 晴一郎	上西 郁夫
取締役(監査等委員)	佐々木 耕司	
社外取締役(監査等委員)	鮎川 眞昭	潮田 良三

## 株式情報

(2018年12月31日現在)

発行可能株式総数 110,000,000株  
発行済株式総数 27,667,500株  
株主数 2,865名  
大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数の割合
フレックスコーポレーション株式会社	11,448,800	41.38%
株式会社ナマイ・アセットマネジメント	2,000,000	7.23%
JP MORGAN CHASE BANK 380634	1,321,500	4.78%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 オリエントコーポレーション 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,296,000	4.68%
株式会社オリエントコーポレーション	1,296,000	4.68%
フレックス株式会社	844,800	3.05%
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT	843,300	3.05%
藤崎 慎一郎	821,800	2.97%
藤崎 眞弘	821,800	2.97%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	780,351	2.82%

注: 1. 持株比率は、自己株式(102株)を控除して計算しております。  
2. 当社は株式給付信託(BBT)を導入しており、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が151,800株を所有しておりますが、上記自己株式には含めておりません。  
3. フレックスコーポレーション株式会社は、創業者一族の資産管理会社であります。また、株式会社ナマイ・アセットマネジメントは、当社代表取締役社長 藤崎 清孝氏の親族の資産管理会社であります。  
4. みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 オリエントコーポレーション 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式1,296,000株は、株式会社オリエントコーポレーションがみずほ信託銀行株式会社に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は、株式会社オリエントコーポレーションが留保しております。  
5. 2018年3月7日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、エフエムアール エルエルシーの2018年2月28日現在の保有株式数合計が2,745,912株(持株比率 10.00%)となっている旨が記載されておりますが、当社として2018年12月31日現在における実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

## 株主メモ

(2018年12月31日現在)

事業年度 1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎事業年度終了後3カ月以内  
剰余金の配当の基準日 期末配当 毎年12月31日  
中間配当 毎年 6月30日  
単元株式数 100株  
公告掲載方法 電子公告により行う。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。  
公告掲載URL <http://ir.aucnet.co.jp/ja/announcement.html>  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株主優待制度

当社では株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に、中長期的に当社株式を保有していただくことを目的に株主優待制度を導入しました。

対象となる株主様	毎年12月31日現在の株主名簿に記載され、当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様を対象に、年1回実施します。
優待の内容	対象株主様お一人につき、1,000円分のQUOカードを贈呈します。 
贈呈時期	毎年3月開催の定時株主総会終了後に送付する決議通知に同封することを予定しています。
開始時期	2018年12月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様を対象として開始します。



東京都港区北青山二丁目5番8号 青山OMスクエア  
<http://www.aucnet.co.jp/>